

国連人権理事会のベネズエラ政府に対する勧告 —深刻な権利侵害の停止及び救済の緊急措置を求める—

2019年7月4日、国連人権理事会は、ベネズエラ政府に対して、人権と生存に関する報告書を出して緊急で具体的な措置をとることを勧告しました。その概要を次に紹介します。 小松崎榮。

*なお、翻訳は小松崎がしました。全文をお読みにになりたい方は、次にアクセスしてください。また、アカ字の小見出しも小松崎が付けました

https://www.ohchr.org/EN/HRBodies/HRC/RegularSessions/Session41/Documents/A_HRC_41_18.docx

- ① 2019年7月4日の国連人権理事会の報告書は、ベネズエラ政府に対して次に述べる緊急で具体的な措置をとることを勧告している。その内容は、国内で起きている経済的、社会的、市民的、政治的、文化的権利の重大な侵害を停止し救済することである。
- ② 国連人権高等弁務官事務所の報告書は、次のように警告している。若しこの状態が改善されなければ、ベネズエラからの移住や避難者の前例のない流出は続き、国内に留まっている人達の生活条件は益々悪化するだろう。
- ③ 国連人権理事会により委任された報告書は、次のように述べている。
過去10年間、特に2016年以降、ベネズエラ政府と政府機関は、「政府の政敵や批判者が活動できないようにしたり、抑圧したり、犯罪者に仕立てることなどを狙った」戦略を取って来た。一連の法制、政策、政府の行動は、民主的活動を制限し、制度上のチェック&バランスを取り去った。人々を、食糧と医療という（生きるための）基本的権利を得られない状態に放置した深刻化する経済危機を明らかにしている。
- ④ この報告書は、2018年1月から19年5月にわたり、ベネズエラと他の8カ国において、ベネズエラの悪化する経済状況と権利侵害の犠牲者や目撃者など558人のインタビューをおこない、そして他の情報源に基づき作成された。

調査に当たっては、マドウロ大統領など政府要人、ビジネス界の人にも会っている

- ⑤ 国連人権高等弁務官のミCHEL・パCHEレ氏は、6月19日～21日にベネズエラを訪問し広い層の人々と会った。その中には、犠牲者とその家族、マドウロ大統領やほかの政府要人、国会議長、ビジネス界の代表、学者、利害関係者がいる。
この訪問後も、国連の人権担当者のチームが2組、ベネズエラに残っている。彼等は人権についての技術支援の提供とアドバイスをすること、人権状況の監視を行う任務に

ついて（政府と）同意を得ている。

⑥ 高等弁務官のバチェレ氏の言葉

「私がベネズエラ訪問中、国家による暴力の犠牲者から話を直接聞き、裁きを求める彼らの訴えを聞く事が出来た。私は関連する機関に、この報告書で述べた人権抑圧と共に、犠牲者と市民社会の声を誠実に伝える」

「我々は、拷問や裁判問題を含めて、政府の棘となっている幾つかの問題の解決に政府が我々と共に動くことの言質を取っている。また、拘留施設へ立ち入りも許されている。状況は複雑である。しかし、このレポートは緊急な事態において、進行中の抑圧を止めるため、犠牲者に正義をもたらす有意義な話し合いの環境をつくる事など、実行可能な明確な勧告を含んでいる。我々はあらゆる関連する利害関係者と共に、彼らがどのような政治系統にあろうとも、建設的に動く準備ができています。そしてベネズエラの全ての国民の権利の擁護を続ける」。

- ⑦ 報告書は、過去10年間に、国の機関が如何に強固に軍国家されたか詳細に述べている。この報告のために活動している間にも、民間と軍の部隊による、恣意的な拘留、政府に批判的な人々とその家族への虐待と拷問、拘留中の性的・ジェンダーに基づく暴力、デモに対する過度の武力の行使にかんする訴えがあった。

政府治安部隊と武装市民グループにより5か月で52人が死亡

- ⑧ 「コレクティボス」として知られている半官の武装市民グループは、政府が社会を支配することやデモを抑圧するために力を貸すなどして、事態を悪化させている。国連人権事務所は、2019年1月から5月の間の抵抗運動で66人が死んだと報告している。そのうち52人は**政府治安部隊**と「コレクティボス」によるものである。

政府の数字でも1月～5月の間に、権力に反抗したとして1569人が殺害

- ⑨ 治安作戦と称して治安部隊、特別に編成された部隊（FAES）に、司法手続き抜きに殺されたとされる事案は、驚くほど多い。2018年に於いて、そのような作戦の中で政府の記録でも権力へ反抗したとして5287人が殺された。政府の数字によると今年の1月1日～5月19日の間に、1569人が殺されている。他の資料ではその数字はもっと高いと推測できる。
- ⑩ 更に、2019年5月31日から、58人の女性を含む793人の人々が彼等の自由が奪われた状態にある。また、今年までに国会議長を含む22人の議員が、議会で決めた免責特権を剥奪された。

- ⑪ 多くの人権侵害の犠牲者が有効に裁判や医療を受けられてないことを特に強調している。
- ⑫ 「インタビュー応じた人達によると、報復の恐怖や司法制度への不信から、訴えを起こす人はわずかしかない。女性は特に、多くの操作で何の進展もないという壁に直面している。検事総長の事務所は、捜査と訴追をおこなう責任を果たさず、オンブズパーソンも人権侵害に沈黙している」
- ⑬ 表現の自由について—自由で独立したメディア空間は、いくつかのメディア組織の禁止や閉鎖、独立したジャーナリスの拘留により、縮小している。
過去何年か、独立メディアが減少するような状況をつくるとか事件について政府の見解を押し付けるとかして、政府は通信・報道の支配権を強める事をして来た。

経済危機は以前からのものだが、経済制裁は一層悪化させる

- ⑭ 幾つかの部門に制裁が科される以前から、ベネズエアの経済は危機にあったが、石油の輸出についての経済制裁は経済危機を一層悪化させていると報告書はのべている。

政深刻な医療と食糧不足。しかも、政府支持者でない人は分配にありつけない

- ⑮ 政府は食料と医療の権利を保障する責任をはたしていない。深刻化する食糧の欠乏と供給不足は、栄養価の極めて低い食べ物でさえ入手困難で、それは極めて高い栄養不良を意味している。特に女性に深刻な影響を与えている。平均して1日に10時間も食糧を得るために並ばなければならない女性たちもいる。社会プログラムによりこの状況に取り組む政府の努力にかかわらず、広い部門の人々は食料の分配にありつけない。インタビューを受けた人達は、彼等が政府支持者でないとの理由で彼等を排除している政府・権力を非難している。

医療の状況は恐ろしい。3か月で医療品不足で1557名が死亡

- ⑯ この国の健康状況は恐ろしい状況である。病院はスタッフ不足、医療品、医薬品や医用機器を動かす電気の不足などうだ。2019年の国家病院調査所は掴んでいる。2018年11月から2019年2月の間に、医療品不足で1557人の人が亡くなった。
- ⑰ 先住民の人的状況の不均衡な影響（差別）、様々な理由で彼等の土地の支配権が喪失していることも報告書は指摘している。それは、軍隊の駐留、組織的な犯罪ギャング、武装集団などによる。特にアマゾン川上流やボリバル州に対する採掘、様々な複合的な権利の侵害を招いている。例えば、生活における習慣や伝統的やり方、彼等の土地における精神的つながりへの権利を含む。

- ⑱ 国連人権事務所により記録された基本的人権侵害に関して、ベネズエラ政府にたいして、一連の勧告を掲げている。

人間として必要な、食糧、水、健康、住居、恐怖からの自由を。政府はこの勧告に従ってください。経済危機解決に妥協案をつくりましょう。

- ⑲ バチレ氏の言葉。

「私は心から願っています。政府がこの報告に含まれるあらゆる情報をシッカリと見ることを。そして、その勧告に従う事を。私は次のことで同意できると確信しています。あらゆるベネズエラの人々が良い生活を受けること、つまり、恐怖からの自由（逃れること）、適切な食糧と水、健康管理、住居、その他あらゆる人間として必要なこと」

「カラカスのカソリックの神父は、私に言いました。これは政治の問題でない、人々の苦しみの問題です。このレポートも、政治、地政学、国際関係でなく、全てのベネズエラ人が与えられるべき人権についてなのです」

「私はベネズエラ内外で権力と影響力のある人と全ての人に呼び掛けます。共に努力することを、そしてすべてを奪う危機を解決するための必要な妥協案をつくることを。本事務所は、引き続きその役割を果たす用意がある」